

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和7年度分）

施設	名 称	大平運動公園
	所 在 地	栃木県栃木市大平町蔵井1, 547
	施設内容	公園管理・公園維持管理業務
指定管理者	名 称	株式会社エイジェックススポーツマネジメント
	所 在 地	東京都千代田区丸の内1-11-1パシフィックセンチュリープレイス丸の内16F
	主な業務内容	スポーツ総合マネジメント事業・アスリートセカンドキャリア支援

（１）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか				
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか				
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか				
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	利用者アンケート数			200件	256件	
	利用者意見反映数			6件	7件	
	利用者案内掲示板数			5カ所	5カ所	
	利用満足度率			80%	88.70%	
	業務改善数			3件	5件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	25	Ⅲ	0.6	15	I	1.0
指定管理者コメント	・ 利用者のアンケートを基に、業務改善に努めた（・多目的広場の看板設置・園内のゴミ収集など） ・ 利用者の要望によりテニスコートの時計設置・トイレ修復・案内板等設置など ・ 利用者様からの苦情・色々指摘をされたら早急に対応しています ・ 利用者様の意見を取り入れ、より良い公園作りをしています					
施設所管課コメント	利用者からの苦情や意見の把握に関しては、アンケート等をもとに計画値を上回って実施されている。 また、適切に意見反映及び業務改善を行い、利用者の満足度も計画値を上回っており、誰もが利用しやすい施設づくりが図られている。 案内掲示板数は、計画通り実施されている。 以上の理由により、この評価とした。					

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルＴＶ、ホームページ、ＳＮＳ等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	利用者数			100,000人	82,226人	
	広報紙発行部数			500枚	700枚	
	新規事業数			3件	2件	
	地域との共同事業数			5件	2件	
	共同事業参加数			1,000人	1,300人	
評価	配点	第１次評価（指定管理者評価）			第２次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅳ	0.4
指定管理者コメント	・利用者数は、僅かに目標値に届きませんでした ・弊社独自の広報誌を発行しました ・初年度と言うこともあり新規事業は、目標値に達成しませんでした ・さくらカップやなつこいを毎年行っています					
施設所管課コメント	利用者数が目標値未達成である。 新規事業数や共同事業数は、目標値を下回っているため、今後は利用者や地域住民のニーズに合わせた事業が十分に開催されることを期待する。 広報誌発行部数や共同事業の参加者数は、目標を上回る実績を残しているため、これを足がかりに新規利用者の増加を図りたい。 以上の理由により、この評価とした。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	経費削減額			1,549,345円	4,343,028円	
	経費削減率			5.00%	14.01%	
	見積合わせ実施数			5件	10件	
	施設修繕費			5件	11件	
	備品等更新数			2件	2件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	I	1.0	15	I	1.0
指定管理者コメント	・今年度は、指定管理業務が初めてだった事もあり削減額が多かった ・見積り実施数や修繕費数・備品更新数は、計画値を上回っていました					
施設所管課コメント	経費削減額及び見積合わせ実施数が計画値より大幅に上回っている。 さらに、施設修繕についても計画値より多く実施されており、適切な管理のもとで経費削減に取り組んでいることがうかがえる。 備品等更新数については、計画通りを実施された。 以上の理由により、この評価とした。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	団体の財政状況等は健全であるか　＜別紙参照＞					
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値	
	人員配置数			5人		5人	
	研修会開催数			22回		3回	
	研修参加参加者数			7人		7人	
	勤務時間数（1人当り）			40時間/週		40時間/週	
	経常収支比率			100%		100%	
評価	配点	第１次評価（指定管理者評価）			第２次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅳ	0.4	8
指定管理者コメント	・ 人員配置数、研修開催・参加者数、勤務時間数等、全てでクリアしていますので継続します						
施設所管課コメント	必要な職員数を配置し、適正な勤務形態が確保されている。 経常収支比率は100%になっており、財政状況等は健全である。 研修会開催回数については、目標を下回る実績となっており、今後は必要に応じた研修会を適切に開催されるよう改善を図られたい。 以上の理由により、この評価とした。						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	安全点検実施回数			2回	2回	
	事故発生件数			0件	0件	
	安全講習会参加者			10人	9人	
	訓練実施回数			2回	2回	
	訓練参加者数			50人	8人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅳ	0.4
指定管理者コメント	・安全点検、事故発生、安全講習会、訓練実施数は、それぞれ計画値通りです。 また、訓練参加人数がかなり少なかったのもそこは、反省点です。					
施設所管課コメント	日常の点検や緊急時の訓練実施回数は適正であり、安全対策が行われている。 ただ、訓練の参加者数については目標値を下回っている。 以上の理由により、この評価とした。					

評価結果	配点	第 1 次評価点 (指定管理者評価)	第 2 次評価点 (施設所管課評価)	第 3 次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	15	25	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	12	8	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	12	8	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	12	8	
評価点合計	100	66	64	
総合評価		C (可)	C (可)	

第 3 次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和5年12月期	令和6年12月期	令和7年12月期
資産総額	2,727,691,514	4,448,934,391	1,840,983,237
売上高	3,376,153,535	2,983,172,415	3,309,901,145
経常利益	47,928,862	▲549,536,156	▲789,287,889
当期利益	45,819,825	▲556,017,840	▲789,947,408
経常収支比率	101.44%	84.45%	80.75%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。
この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和5年12月期	令和6年12月期	令和7年12月期
経常費用	3,328,377,619	3,533,183,162	4,099,364,933
経常収益	3,376,306,481	2,983,647,006	3,310,077,044
経常収支比率	101.44%	84.45%	80.75%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めま
す

指定管理者コメント

令和6年以降は、男女硬式野球部の活動経費（人件費・活動経費）5億円分をASMで負担している為、この数字報告になっています。エイジェックグループ内（売上1,240億円）で資金調達をしておりますので経営上全く問題ありません。また、今年度以降は、経費削減・人件費削減を進めて参り、売上拡大を図り収益改善を進めて参ります。